

# 第17回膵癌早期診断研究会 プログラム・抄録集

【開催日時】 2023年7月14日(金)18:00~20:30

【開催形式】 WEB開催

【参加費】 1,000円

【参加方法】 <https://ea-seminar.jp/suigan17/>  
上記URLまたは二次元コードよりお申込みください。



## 【プログラム】

17:50~18:00 **製品紹介** EAファーマ株式会社

---

18:00~18:05 **開会のご挨拶**  
JA尾道総合病院 消化器内科 花田 敬士先生

---

18:05~18:35 **ミニレクチャー**  
司会: JA尾道総合病院 消化器内科 花田 敬士先生  
「膵癌早期診断におけるUSの役割と検診の課題」  
演者: 飯田市立病院 消化器内科 岡庭 信司先生

---

18:35~20:25 **症例提示**  
司会: 金沢大学附属病院 放射線科 井上 大先生  
自治医科大学 消化器肝臓内科 菅野 敦先生

### [症例提示①]

演者: 川崎医科大学 消化器内科 河瀬 智哉先生  
病理: 京都第二赤十字病院 病理診断科 安川 覚先生

### [症例提示②]

演者: 県立広島病院 消化器内科 齊藤 裕平先生  
病理: 愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部 細田 和貴先生

---

20:25~20:30 **閉会のご挨拶**  
京都第一赤十字病院 病理診断科 特別顧問  
京都府立医科大学 名誉教授 人体病理学 特任教授 柳澤 昭夫先生

---

【共催】 膵癌早期診断研究会/EAファーマ株式会社/ガデリウス・メディカル株式会社

## 【症例提示①】

川崎医科大学 消化器内科学<sup>1)</sup>、北斗病院 消化器内科<sup>2)</sup>、北海道大学 消化器外科学Ⅱ<sup>3)</sup>、  
同 腫瘍病理学<sup>4)</sup>、慶應義塾大学医学部 腫瘍センター<sup>5)</sup>、川崎医科大学 病理学<sup>6)</sup>

○河瀬智哉<sup>1)2)</sup>、吉田浩司<sup>1)</sup>、塩谷昭子<sup>1)</sup>、岡崎遼<sup>3)</sup>、浅野賢道<sup>3)</sup>、中村透<sup>3)</sup>、平野聡<sup>3)</sup>、  
四十物絵里子<sup>4)5)</sup>、西原広史<sup>5)</sup>、佐貫史明<sup>6)</sup>、森谷卓也<sup>6)</sup>

症例:66歳 男性

15年前に咽頭癌の既往があり、頭頸部 CT および PETCT で経過観察されていた。

今回 PETCT で偶発的に膵尾部主膵管拡張を指摘され、当科紹介となった。

腹部超音波検査で主膵管拡張起始部の膵実質に明らかな異常所見は認められなかった。造影 CT では拡張主膵管周囲の膵実質の著明な委縮を認め、狭窄頭部側に遅延性濃染領域を認めた。

超音波内視鏡(EUS)では主膵管口径不同部を認め、周囲に不整な低エコー領域を認めた。

膵管造影で、屈曲を伴う狭窄とその頭側の膵管不整像を認めた。膵管狭窄部をガイドワイヤーは突破したが、造影カニューラ、5Fr ENPD カテーテルは突破できなかったため、狭窄部頭部側で洗浄細胞診のみ実施。classⅢ相当の異型細胞を認めた。画像上膵管癌が疑われ、脾温存膵体尾部切除術を施行。病理組織診断では主膵管狭窄部から離れた膵頭部側の主膵管内に低乳頭状の High grade PanIN を認めた。狭窄部は厚い線維組織で覆われており、周囲膵実質は腺房の脱落・脂肪変性を認めた。狭窄近傍の主膵管内には Atypical flat lesion と思われる高度核異型を伴った上皮に置換されている部分が確認できた。一部膵管上皮は脱落していたが、狭窄部上流拡張膵管内には High grade PanIN は認められなかった。

## 【症例提示②】

県立広島病院 消化器内科<sup>1)</sup>、同 内視鏡内科<sup>2)</sup>、同 消化器外科<sup>3)</sup>、  
同 臨床研究検査科・病理診断科<sup>4)</sup>

○齊藤裕平<sup>1)</sup>、佐々木民人<sup>1)</sup>、西阪隆<sup>4)</sup>、古川潤一<sup>2)</sup>、平野ななみ<sup>2)</sup>、網岡祐生<sup>1)</sup>、益田啓志<sup>2)</sup>、  
小道具大輔<sup>1)</sup>、眞次康弘<sup>3)</sup>

症例 83歳、女性。

2014年に膵頭部、体部、尾部嚢胞の精査の結果、慢性膵炎による貯留嚢胞と診断され、いったん終診となっていた。2021年6月に心窩部痛があり、腹部USで膵体部嚢胞の増大と主膵管拡張を指摘され、精査目的に再紹介となった。CTでは既知の膵体部嚢胞と、嚢胞よりも尾側の主膵管の数珠状拡張を認めた。嚢胞および主膵管内には結節性病変は指摘されなかった。また、膵実質の萎縮はCT上は指摘困難であった。EUSを行うと、既存の膵体部嚢胞の約1cm乳頭測から主膵管は拡張していた(狭窄A)。狭窄部周囲の膵実質は萎縮していたが、明らかな腫瘍性病変は指摘されなかった。膵体部嚢胞付近の主膵管には、嚢胞による圧排性狭窄を認めた(狭窄B)。同部の嚢胞壁は軽度肥厚し、嚢胞周囲の実質はエコー輝度低下を認めた。ERPではインシャルの造影では、膵体部で主膵管狭窄(狭窄A)を認め、尾側は造影されなかった。狭窄部付近までカテーテルを圧入すると、長さ5mmの主膵管狭窄(狭窄A)と共に、狭窄Aの1cm尾側に圧排性狭窄(狭窄B)と、その尾側に拡張した膵管が造影された。狭窄Aより行った擦過膵液細胞診はclassⅡであった。CISの可能性について、ご本人、ご家族へ説明したところ、手術を希望され、膵体尾部切除術が施行された。手術標本では狭窄A周囲において、膵管上皮直下に密な繊維化と軽度慢性炎症細胞浸潤を認め、主膵管周囲の腺房は脱落するも、異型膵管上皮は認めなかった。狭窄B周囲においては、拡張した膵管内に、高度異型を示す膵管上皮の乳頭状増殖を認め、high grade PanINと診断された。

# 第17回膵癌早期診断研究会 ご視聴までの流れ

※詳細は <https://ea-seminar.jp/suigan17/> をご確認ください。

## ① 参加登録・参加費決済

下の URL または二次元コードからアクセスして参加登録と参加費のクレジットカード決済を行ってください。

<https://ea-seminar.jp/suigan17/>



## ② ZOOM 視聴登録

『登録完了(決済完了)のご案内』メールに記載された URL から ZOOM にアクセスし、ZOOM の視聴登録を行ってください。

メール例

●● 様

第17回膵癌早期診断研究会のご参加について  
クレジットカードによるお支払いが完了いたしました。

▽第17回膵癌早期診断研究会▽

視聴にあたって、以下の URL から ZOOM ウェビナーに事前登録してください。

▼URL:

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/\\* \\* \\* \\* \\*](https://us06web.zoom.us/webinar/register/* * * * *)

## ③ 研究会参加

ZOOM の視聴登録完了後、参加リンクが記載されたメールが送信されます。当日はメールのリンクをクリックしてご参加ください。

メール例

Zoom に参加する方法

1. PC、Mac、iPad、または Android から参加する

[ウェビナーに参加](#)

上記のボタンが機能しない場合は、このリンクをブラウザに貼り付けてください。

### ■参加登録に関するお問い合わせ窓口

(電話対応:7月14日(金)20時30分まで)

(株)サンプラネット/メディア・プロモーション・サービス(株)

TEL:03-5816-1055 E-mail:[ea-seminar@media-ps.jp](mailto:ea-seminar@media-ps.jp)

### ■ZOOM 視聴に関する研究会当日の問合せ窓口

TEL:03-6264-9276(研究会当日 17時~20時30分)

E-mail:[webinar@sunpla-mcv.com](mailto:webinar@sunpla-mcv.com)

※メールでのお問い合わせの際は「研究会名」をご明記のうえお問い合わせください。